

地域包括ケアの地区展開

令和6年度

経堂

地区アセスメント

人口	面積 （k m ² ）	人口 （人）	人口 密度 （人/ k m ² ）	高齢者 人口 （人）	高齢化 率（％）	年少人 口（人）	年少人 口率 （％）	世帯数 （世帯）	平均世 帯人数 （人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持 者		障害サービス受 給者	
											高齢単 身者世 帯数	高齢者 のみ世 帯数	その他 高齢者 がいる 世帯	世帯率 （％）	内高齢 单身・ 高のみ 世帯率	認定者 数（人）	認定率 （％）	身体障 害者手 帳	愛の手 帳	自立支 援給付	障害児 通所給 付
	2.918	51,921	17,793	10,842	20.88%	5,562	10.71%	29,246	1.78	8,002	3,849	2,060	2,093	27.36%	20.20%	2,431	22.42%	1062	237	316	157
	傾向 経堂地区は区内で3番目に人口が多い。高齢者人口は、10,842人と区内で2番目に多く前年よりやや増加していることから、高齢者がいる世帯数・および単身高齢者世帯数、高齢者のみの世帯数も増加傾向にある。年少人口率については、区内全域と比較してもほぼ同等である。																				
地域活動																					
	町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録者数	生活支援体制整備事業協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容							
			サロン	子育てサロン	ミニデ イ									地域内での多世代交流を目的とした取組みとして、「街なかステーションきょうD0」を、高齢者施設を借りて月1回開催している。駅近の商業施設にて、子育て世代の孤立防止、地域とつながるきっかけづくりとして、地域の子育て団体と協働で「こども天国」を不定期で実施している。家族がひきこもりの状態にあり、悩みを抱えている方の受け皿として、社協登録サロンの「はなみずきの会」が活動している。							
	8	10,700	26	20	4	2		6	22	65	16	4									
生活支援	地域密着型サービス																				
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護	障害者・児通所系・共同生活介護等							
														○生活介護2箇所（ほほえみ経堂、にこにこみやさか） ○自立訓練1箇所（にこ） ○共同生活援助3箇所（グランシエル桜丘、アイリスホーム世田谷、シェリルハウス世田谷） ○障害児通所支援4箇所（ファーストクラスルームちとふな、障害児保育園ヘレン経堂、アプリ児童デイサービス桜丘、カンガルー療育支援室世田谷ステーション） ○その他1箇所（手話通訳等派遣センター）							
	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	7	3								
	障害相談支援機関・相談支援事業所																				
	○特定相談支援事業所1箇所（相談支援ウィング）																				
医療	医療機関、訪問看護等																				
	○病院2箇所（世田谷井上病院、児玉経堂病院）、一般診療所53箇所、歯科30箇所、薬局21箇所　○訪問看護事業所9箇所																				

子ども・教育	児童館	桜丘児童館
	その他、児童施設	桜丘小新BOP・笹原小新BOP・経堂小新BOP・世田谷小新BOP
	おでかけひろば	生活クラブ子育て広場ぶらんこ・おでかけひろば　ぶれす
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	桜丘小学校、経堂小学校、世田谷小学校、笹原小学校（以上区立）、和光小学校、東京農業大学稲花小学校（以上私立、地区外）
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	桜丘中学校、桜木中学校、緑丘中学校（以上区立）、鷗友学園女子中学高等学校（私立）、恵泉女学園中学・高等学校（私立、地区外）
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	東京農業大学
	保育施設	南桜丘、わかくさ（以上区立）、さくらの園、さくらの園分園つぼみ、桜ヶ丘、経堂、烏山杉の子保育園分園みなみ風、すこやか園分園キリン、ポピンズナーサリースクール経堂南、ラフ・クルー経堂、桜の詩、祖師谷わかば保育園千歳船橋分園あおばA・B（以上私立）
	子どもに関するその他の事項	
	社協が助成する子ども食堂は地区内に５か所ある。食事の提供だけでなく、学習支援や朝ごはんの提供による登校のきっかけづくり等、各団体が特色ある活動をしている。 また、住民同士の助け合いの仕組みとして、産前産後の家事支援等を行う「ふれあいサービス事業」の相談受付や、子どもの短時間の預かりや送迎の相談窓口として「ファミリー・サポート・センター事業」をご案内している。	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	生活困窮や家計管理、就労など、生活上の様々な問題を抱えた方の相談先として「ぶらっとホーム世田谷」をご案内。また、判断能力や生活に不安のある高齢者や障害者が、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用や金銭管理の相談、援助サービスとして「あんしん事業」をご案内している。	
公共施設	図書館	桜丘図書館、経堂図書館
	地区会館、区民集会所など	桜丘区民センター、宮坂区民センター 経堂地区会館、経堂地区会館別館、経堂南地区会館

住 まい ・ 環 境 ・ 防 災	主な公園・緑道・広場		40か所の公園や児童遊園、烏山緑道、北沢川緑道がある。この内、桜丘4丁目にある桜丘すみれば自然庭園は、一般財団法人世田谷トラストまちづくりと、市民運営グループが協働して管理運営を行っている。
	土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）		
	馬事公苑の北側に位置し、西側は環八をはさんで砧地区、南側は世田谷通りをはさんで用賀地区、東側は世田谷線をはさんで梅丘地区に接している。1927年に開通した小田急線の2つの駅を中心に発展してきた住宅が多い地域で、戸建てや共同住宅、中規模のマンションが存在する。経堂4丁目・5丁目や、桜丘5丁目の一部では区画整理が行われ街路が整然とした街並みがあり、また寺社や屋敷林の樹木も多く、「緑が多い住宅地」の印象が強い。また、近年は社員寮や事業所の跡地に大規模なマンションや、有料老人ホームの建設も進んでいる。桜丘地区では東京農業大学の世田谷キャンパスがあるほか、畑や果樹園も存在し、農産物の無人販売所も多いが、一方で宅地化も進んでいる。 また、暗渠化された烏山川、北沢川緑道を谷として、なだらかな坂のある地形となっている。		
	交通の便に関する事項（鉄道・道路）		
	鉄道は、小田急線経堂駅、千歳船橋駅があり、駅を中心としてまちが広がっている。最寄り駅では、豪徳寺駅、東急世田谷線山下駅、宮の坂駅がある。 バス路線は、経堂駅、千歳船橋駅から発着する路線、世田谷通りや千歳通りを通る路線はあるものの、経堂駅南側から千歳船橋方面にかけてはバス路線が無いエリアとなっている。 道路は、地区の西側に環八通り、南側に世田谷通り、千歳通り、小田急線と並行して城山通り等がある。令和2年度に都市計画道路（桜木トンネルを含む区間）が一部開通したものの、未完成の都市計画道路や主要生活道路も多く、狭あい道路や行き止り路も多い。		
産業に関する事項（買物・商店街などを含む）			
小田急線の経堂駅は駅周辺に商業施設やスーパーマーケットがあるほか、住宅街に向かって商店街が伸びており、大学や私立中高もあるため学生の通行も多く、飲食店も多いため人の流れが絶えることはない。また、千歳船橋駅も経堂駅よりは乗降客数は少ないものの、スーパーマーケットや商店街がある。 桜丘地区では畑や果樹園が残り、地元産の農産物販売所も多い。			
防災 → 各地区の地区防災計画を参照			

地区課題解決の取り組み	地区ビジョン
	●安心・安全のためにみんなで備えるまち ●ご近所の顔が見え、互いを思いやるやさしいまち ●活気があり、緑豊かできれいな環境を保つまち
	課題、取り組みの方向性
	1. 地域活動の主催者や参加者の高齢化などによる担い手不足などで活動の衰退が懸念されている。一方では「地域で役に立つことをしたい」という思いから何かに取り組もうとしている人もいるがそれぞれの思いをマッチングする機会が少ない。 2. サロン活動や体操クラブ、子育て団体などの活動が盛んであるが、多世代が交流して、互いに繋がりあって活動を活発化させる機会が少ない。地域活動の担い手や参加者は女性が多いが、地区に定着している男性を地域活動の担い手や参加者として活躍の機会を設ける必要がある。 3. 近所付き合いが希薄になり孤立する高齢者が増えているなか、町会役員や民生・児童委員も高齢化し、地域の防災力低下の懸念や、避難行動要支援者の安否確認などの高齢者の見守り活動が難しくなっている。
	参加と協働の地域づくりの取り組み内容
	●様々な地域活動をする人々や活動団体相互の協力と見える関係づくり、見守りネットワークなどを活用して協力関係を構築。活動の担い手を増やしていく。 ●認知症でも住みやすいまちの実現（商店の協力や啓発活動なども）、認知症アクション講座の実施。 ●学校に関わる方々（PTA、おやじの会など）と区民防災組織（町会）と「顔の見える関係」づくり。防災訓練、避難所運営訓練への参加、協力。 ●福祉の相談窓口（まちセン）より離れている地域にも、「誰もが集える居場所」づくり。